

7月下旬実施の学校評価の結果と考察

【児童用アンケートの問い】

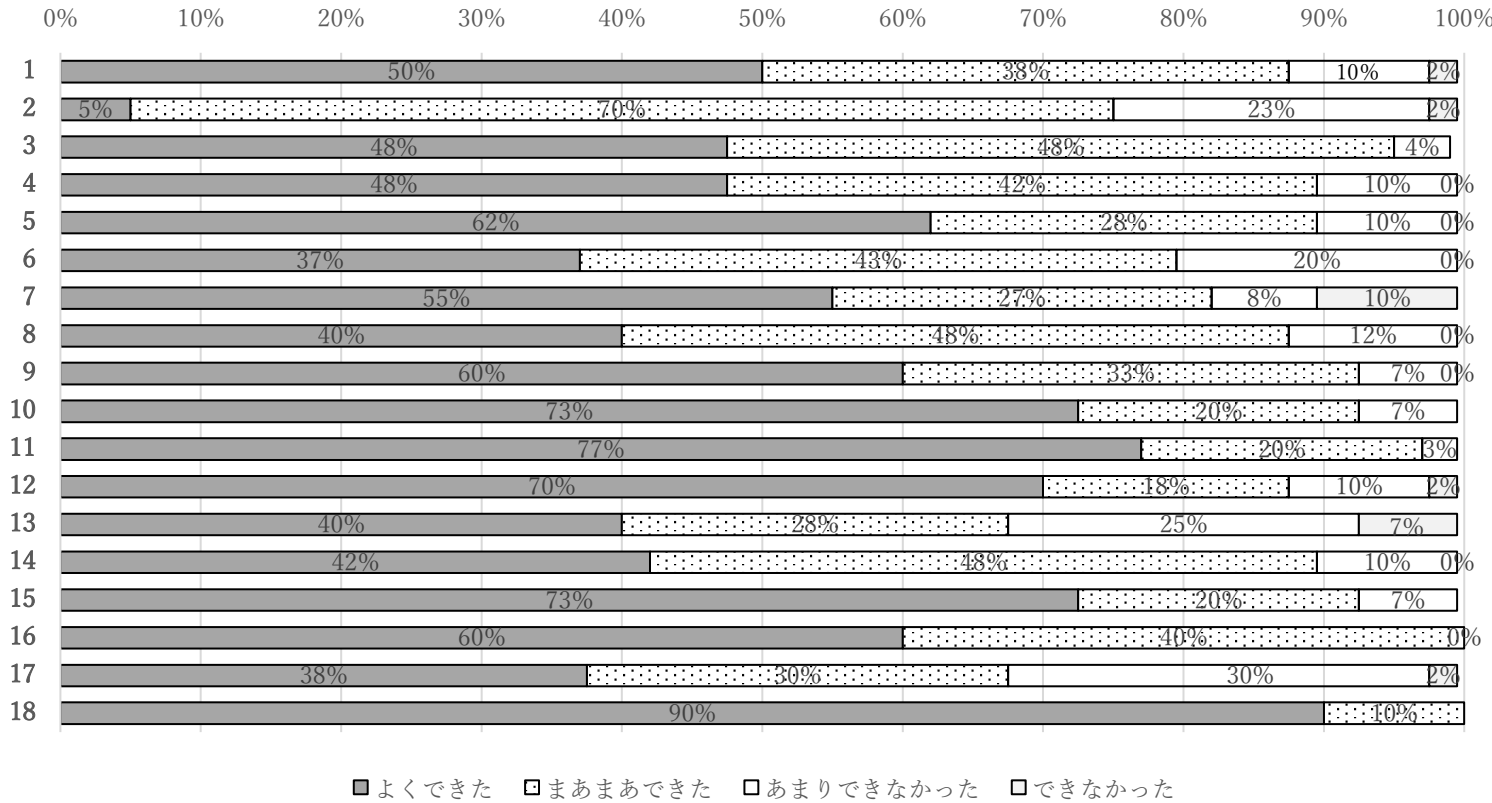
1. 学校は楽しいですか。
2. 姿勢に気をつけて勉強していますか。
3. 話を聞くときは、話す人に向けて聞くようにしていますか。
4. 話をするときは、聞いている人のことを考えながら話していますか。
5. 授業中、自分の考えを発表していますか。
6. 宿題は、毎日ていねいにするようにしていますか。
7. 進んで読書をしていますか。
8. 自分から「おはよう」や「こんにちは」など、大きな声であいさつをしていますか。
9. 学校や学級のきまりや約そくをまもっていますか。
10. きれいになるように、時間いっぱいそうじをしていますか。
11. 友だちと仲良くすごしていますか。
12. 困ったことは先生たちやカウンセラー（よしだ先生）に相談していますか。
13. 家で仕事やお手伝いをしていますか。
14. 毎日、早く寝て早く起きるようにしていますか。
15. 毎日、朝ごはんをしっかり食べるようにしていますか。
16. 毎日、食べたあとは歯みがきをするようにしていますか。
17. 中休みや昼休みは、運動場で遊ぶようにしていますか。
18. 学校の行き帰りは、安全に気をつけて歩いていますか。



＜考察＞

- 問 1 「学校は楽しいですか。」について、約 12%の児童が否定的な回答であった。教育相談はもちろんのこと、学校・学級の一員であるという所属感を持たせる対応が必要である。
- 問 2 「姿勢に気をつけて勉強していますか。」について、約 25%の児童が否定的な回答であった。正しい姿勢で学習することの大切さを、学級指導・保健指導を通して、理解を図り、改善が必要である。
- 問 7 「進んで読書をしていますか。」について、約 18%の児童が否定的な回答であった。読書の魅力や意義を継続して指導していく必要がある。
- 問 12 「困ったことは先生たちやカウンセラーに相談していますか。」について、約 12%の児童が否定的な回答であった。困ったことを抱え込まずに相談できる先生と児童のつながりを強化していきたい。
- 問 13 「家で仕事やお手伝いを していますか。」について、約 32%の児童が否定的な回答であった。家庭で児童に役割を持たせることの意義を保護者に発信したり、家族の一員として手伝いすることの意義を指導したりしたい。

学校評価に関する児童アンケート結果



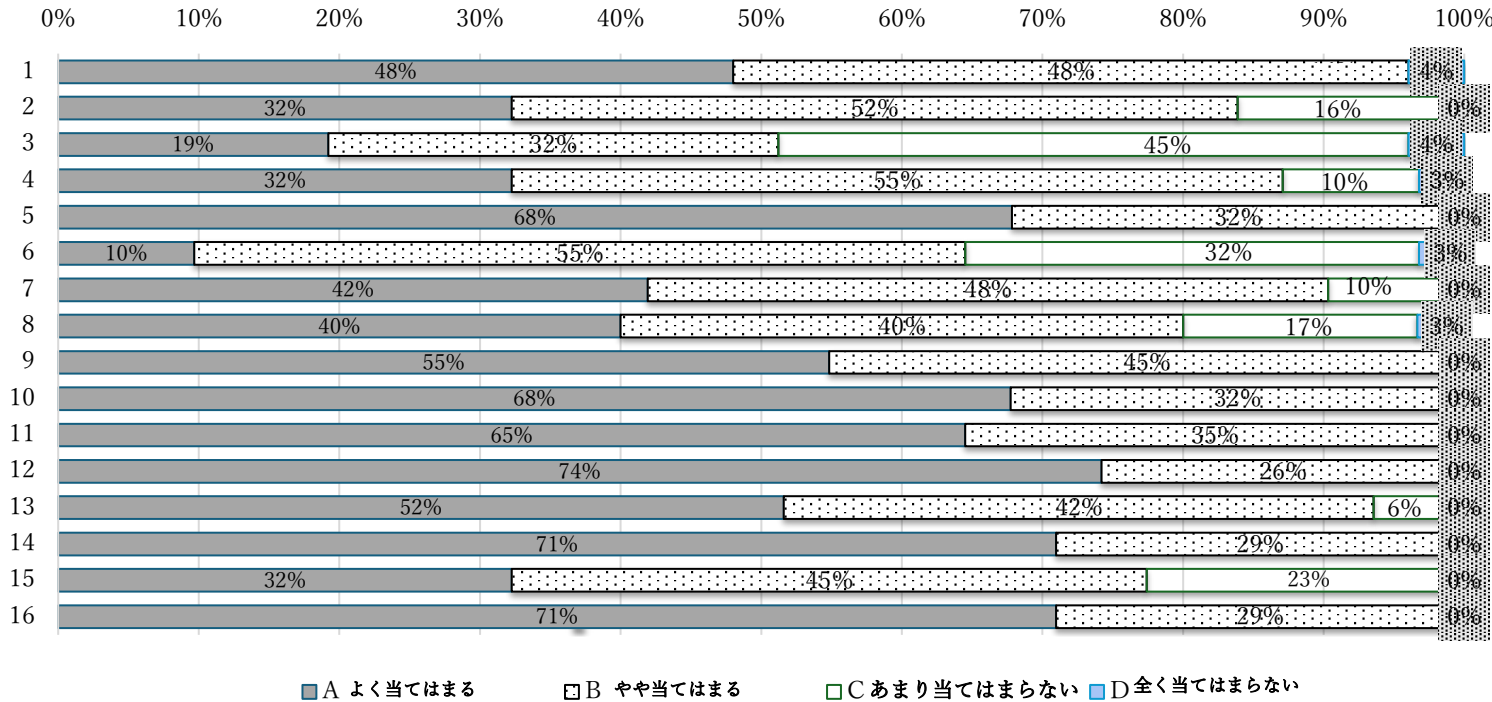
【保護者用アンケートの問い】

1. 学校が楽しいと言っている。
2. 家庭学習の習慣が付いている。
3. 進んで読書をしている。
4. 明るく挨拶をしている。
5. 友達と仲良く過ごしている。
6. 進んで家の手伝いをしている。
7. 早寝・早起き・朝ごはんが身に付いている。
8. 進んで外遊びや運動をしている。
9. 子どもの学力の定着と向上に向けた実践をしている。
10. 保護者や地域と連携し、子どもの安全確保に努めている。
11. 日頃から保護者との協力体制をとっている。
12. 学校の取組や子どもの様子を分かりやすく伝えている。
13. 学校での出来事やニュース等について、親子で話している。
14. お子さんのがんばりに対して、励ましの言葉掛けをしている。
15. ゲームやネットについて、家庭のルールを守らせている。
16. PTA活動に進んで参加し、親同士の交流に努めている。



- 問 1 「当てはまらない」の回答の合計が 4%であった。→児童観察や教育相談に、更に力を注いでかなければならないと思います。
- 問 3 「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の回答の合計が 49%であった。読書指導に力を入れていき、読書習慣の向上を目指したい。
- 問 6 「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の回答が 35%であった。→家族の中で役割を担って実行していくことで、自己有用感を持つことができ、潤いのある家庭生活を送ることができることを伝えていきたい。
- 問 15 「あまり当てはまらない」の回答が 23%であった。→ゲームやYouTube等の動画視聴でのルールが守れなくなり、依存症に陥っていく危険性がある。依存症の怖さを学校で指導するだけでなく、保護者の皆様の児童への関わり方(ルールが守れているか。問題点をどのように改善していくのか。)について親子で話し合う機会を持つことも不可欠だと感じる。

学校評価に関する保護者アンケート結果



＜自由記述(改善点)に対する回答＞

- 日頃より子供たちへの御指導ありがたく思う。一つ気になることがある。それは、子供たちを指導する時の先生方の声掛けである。子供たちに合った声掛けをしていただけると良いと思う。
- 時間に遅れたり、授業と関係のない話をしたりする先生がいると子供が言っている。授業に楽しさが必要と思うが、子供が集中したい時に、関係のない話をするのは控えていただきたいと思う。
- 国の法律等で複式学級と決まっているとのことだが、やはり、5・6年生は分けてほしい。勉強が難しくなると、担任の負担も大きいと思う。教育委員会などに働きかけはできないのか。

- ☆ 今後は、教職員間で声掛けのあり方について改めて共有し、子供たちが安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。特に、子供たちの年齢や性格、状況に応じた柔軟な対応ができるよう、研修や話し合いを重ねていきます。
- ☆ 今回の御意見を受け、教職員間で改めて授業の進め方や時間管理について確認を行い、子供たちが安心して学べる環境づくりに努めていきます。また、授業の中での話題の選び方についても、より配慮を重ねていきます。
- ☆ 現在、複式学級の編成は国の制度や地域の児童数、教職員配置の基準に基づいて行われており、学校単独での変更は難しい状況です。複式学級の良さを生かした学級づくりに力を尽くしていきます。